

目標達成計画

作成日：平成 22年 5月 13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	センター方式の書式を活用し、本人の要望、生活を送る上での課題をアセスメントし、職員間でカンファレンスしている。家族の要望、意見を十分に聞いていないのが現状である。	本人、家族、職員、関係者の意見やアイデアが反映された介護計画を作成する。	介護計画作成時・見直し時前に、ご家族へ、ご意見・要望書を送付し、書面にてご意向を確認する。	6ヶ月
2	15	新規入居者受け入れの際は、事前にご本人の情報を職員に周知しているが、事前のカンファレンスは行われていない。生活を送る上での課題、ご本人の要望を汲み取るようにしているが、その場の対応になりがちである。	サービスを導入する段階で、生活を送る上の課題、ご本人の要望等の明確化を図り、ケアの統一を図り、本人の安心を確保する為の関係作りに努める。	入居前に関係職員の間で事前カンファレンスを開催するとともに、入居後も本人の生活の状況に応じて期間を設けてカンファレンスを開き、記録に残すようにする。	6ヶ月
1	2	地域とのつながりでは、自治会の活動に参加するようにしているが、管理者が主として参加している。職員の多くが地域と交流するまでには至っていない。	地域の活動や交流の機会により多くの職員が参加する。	所属している組での公園清掃や、自治会の活動、運営推進会議等において、職員が地域と交流できる機会を設ける。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。